

# 志木二中だより



令和元年度 9月号  
志木市立志木第二中学校

令和元年8月29日(木)  
志木市館1-3-1 TEL 048-473-2379

## 実りの秋に向かって

校長 本 荘 真

夏休みが終わりました。生徒一人一人が充実した40日間を過ごしたのであればうれしいです。いろいろなことにチャレンジできましたか。楽しい思い出はできましたか。3年生は、楽しさよりも厳しさの多い毎日だったかもしれません。いずれにしてもこの夏休みにがんばった成果がこれから表れるはずですよ。

先日、車を運転し信号待ちをされていてふっと横を見たら田んぼに立派な稲が実っていました。もうそんな時期かと思うと同時に、この猛暑でも枯れずにすくすくと成長している稲の強さを感じました。「実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」ということわざがあります。こうべは「頭」や「首」を意味し、首を垂れて頭を下げるという状態を指します。稲が成長すると実を付け、その重みで実(頭)の部分が垂れ下がってくることから、立派に成長した人間、つまり人格者ほど頭の低い謙虚な姿勢であるという意味です。日本人の主食であるお米を人にたとえ、大事なことを教えてくれる素敵な言葉です。

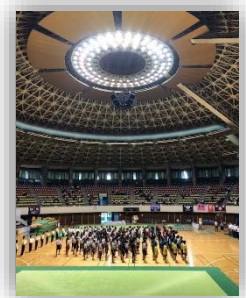


私の見た稲は、まだ頭を垂れるまではいかず、すっくとまっすぐ立っていました。若い稲はまっすぐに天に向かって成長し、やがて実を付ける稲穂に成長します。そして、穂の中の実(お米)が成長してくると、そのしっかりとした実の重みで自然と稲穂の部分が垂れ下がり美しい黄金色になっていくのです。

生徒の皆さんは、たとえるならまだ天に向かってぐんぐん成長している稲穂です。謙虚な姿勢も大切ではありますが、たくさんの光を浴びたっぷりの水分、栄養を補給して、上へ上へと伸びていてもらいたいものです。将来に向けてそれぞれがしっかりとした重みのある実をつけていってください。

この夏も本校の生徒は大活躍でした。前号でお知らせしましたように多くの部、個人が県大会に出場し、さらに卓球や体操の個人で関東大会に出場し、水泳の個人では全国大会にも出場しました。また、吹奏楽部は今年も県大会で金賞を受賞し西関東大会への出場を決めました。

私は、体操の関東大会に一日監督として行ってきました。監督会議と開会式の日で大会自体は見られませんでした。選手のレベルの高い練習風景を目の当たりにし、「中学生、凄い!」と刺激を受けました。新人戦が1か月後に始まります。新チームのがんばりも期待しています。



体操競技 開会式

2学期も保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。